

## 全日中事務局だより

明けましておめでとうございます。  
中学校ではこの四月から新学習指導要領が全面实施となります。

各中学校では、新入生保護者説明会や、保護者会等で新しい学習指導要領の実施により、学習内容の質や量、授業時数の増加、土曜日や長期休業日の扱いなど、これまでとの違いについて説明されていることと思います。

また、生徒たちにも同様の説明をして、四月からの学校生活に戸惑いや混乱がないように配慮されていることと思います。

東日本大震災の影響が残る中で、被災各県のみならず、避難した子どもたちの受け入れ先の各地域、学校では、新学習指導要領の全面实施にも苦慮されているのではないかと思われまます。

しかし、私たちは、すべての子どもたちの豊かな育ちを実現する使命を

担っています。状況が厳しい、苦しい今こそ、全国の中学校長が「教育の実践的専門家集団」として、協力し合い頑張る時と考えております。

子どもたちのために、我が国の将来のために、全日中は前進します。

少人数学級の推進及び教職員の定数改善等を求める全国集会

去る11月21日夕刻、東京都千代田区にある「青陵会館」で、少人数学級の推進及び教職員の定数改善等を求める全国集会が開催されました。

集会は、中川文部科学大臣、森文部科学副大臣、神本文部科学大臣政務官を始め、国民新党、自由民主党、公明党、社会民主党からご来賓をお迎えして満員の参加者により開催され、次のアピールが採択されました。  
少人数学級の推進及び教職員の

定数改善等を求めるアピール  
次代を担う子どもたちの健やかな成

### うこと

することや学習支援が真に必要な児童生徒に手厚い支援が行われるよう教職員定数の改善を求めていることが必要です。その上で、小・中学校のみならず、高等学校、特別支援学校等のあらゆる学校の教育環境の改善を実現し、これまで以上のより良質な教育を我が国の未来を切り開いていく子どもたち

に約束することが、我々教育に携わる者としての責務であります。

以上のことを踏まえ、我々は日本のすべての人々に、次の事項の実現を強くアピールします。  
一、新学習指導要領の円滑な実施、教員が子どもと向き合う時間の確保及び多様化・複雑化する教育課題へのよりきめ細かな対応を着実に行うため、多くの保護者の願いである少人数学級の拡充のための教職員定数の計画的な改善を推進するとともに、平成二十四年度予算において、それを反映した人的措置・財政措置を行

長は、すべての大人たちの願いであり、子どもたちが全国どこに生まれ育ったとしても、等しく良質な学校教育を受けられるようにすることは、我々大人、そして国の責務です。

新しい学習指導要領が実施され、高い水準の豊かな教育を実現するために「教職員の資質と数の充実」が不可欠です。平成二十三年度から実施されている小学校一年生の三十五人以下学級は、教員が子どもと向き合う時間を確保し、よりきめ細かな教育を行うことを求めてきた我々の願いを、実現に導いてくれるものであると確信しております。

また、東日本大震災により被災した児童生徒のための支援など、真に学習支援等が必要な児童生徒への更なる手厚い支援を行う必要があります。

今後は、この少人数学級を小学校一年生だけでなく全学年へ拡充し、中学校への早急な導入を含め計画的に改善

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会

日本PTA全国協議会、日本教育会、全国市町村教育委員会連合会、全国都市教育長協議会、中核市教育長会、全国町村教育長会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国公立小・中学校女性校長会、全国特別支援学校長会、全国連合退職校長会、全国高等学校長協会、全国公立学校教頭会、全国特別支援教育推進連盟、全国へき地教育研究連盟、全日本連合教育会、全国養護教諭連絡協議会、全国公立小中学校事務職員研究会、全国学校栄養士協議会、日本教職員組合、全日本教職員連盟、日本高等学校教職員組合、全国教育管理職員団体協議会

(以上23団体)

(事務局長 青柳 修治)